

10ICG特集

第 10 回国際ジオシンセティックス会議の開催報告

三井化学産資（株） 弘中 淳市

第 10 回国際ジオシンセティックス会議（International Conference on Geosynthetics）が、9 月 22 日から 25 日にドイツのベルリンにある ESTREL convention center で開催されました。なお、本会議は 4 年に 1 度開催される世界大会であり、前々回が横浜、前회가ブラジルで開催されています。

本会議が開催された ESTREL convention center は、ベルリン南東部の市街地から少し離れたところに位置していましたが、テーゲル国際空港からは車で約 40 分、最寄り駅の Sonnenallee 駅からは徒歩約 3 分と交通の便は非常に良い会議場でした。

今回の会議は、同会議場でドイツ地盤工学会（German Geotechnical Society）主催による DGTT 会議が平行して開催されていたこともあり、会場内には両会議の参加者と Exhibition 関係者で非常に賑わっていました。またコーヒーブレイク、ランチは Exhibition 会場内の各所で振る舞われ、多くの議論や相談、または商談が進められていました。

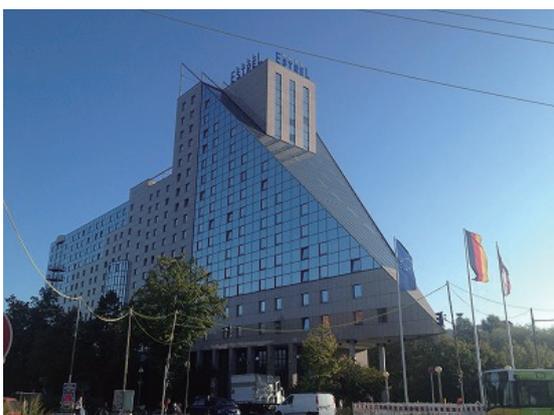


写真-1 会議会場（ESTREL）の外観



写真-2 会場の入口案内



写真-3 会場の Registration desk



写真-4 コーヒーブレイク

会議は Opening session から始まり、Giroud Lecture、Welcome Lecture、Keynote Lecture、Technical session が開催されました。Keynote Lecture は5講演が行われ、そのうち日本から龍岡先生が補強土壁の耐震性について講演されました。Technical session は7会場のパラレルセッションにて4日間で計56セッションが開催されました。総論文数は計341編、このうち日本からは24編でした。

Exhibition に関しては計145社もの出展があり、その半数はIGS関連の出展でした。特にヨーロッパは世界的に展開しているジオシンセティックスメーカーが多数あることもあり、非常に活気のある Exhibition でした。会議初日の18:00～開催された Happy Hour では本場のビールが振る舞われ、出展ブース内では歌手によるパフォーマンスも実施されるなど、かなりの人を集めていました。

その他、会議2日目には恒例のサッカー大会、会議3日目にはIGS General Assembly (総会)、Conference Dinner、最終日には Closing Ceremony が開催されました。なお、各イベントの詳細については、本号の他の報告を参照ください。

本会議の参加者数は発表されませんでした。が、前回のブラジル会議と同程度(800名以上)の参加があったものと思われます。このうち、日本からは30名弱の参加がありました。参加された皆様、お疲れ様でした。

最後に、次回の第11回国際ジオシンセティックス会議は2018年9月に韓国のソウルで開催されることを付記しておきます。



写真-5 Opening session の状況



写真-6 発表会場の状況



写真-7 Exhibition 参加企業の一覧



写真-8 Happy Hour の状況